

近畿地方整備局 様  
淀川水系流域委員会 様

07/11/14 宇治「防災を考える市民の会」 梅原 孝

### 河川整備原案に対する質問及び意見

- 1、質問回答・No.267 利水計画にあつては、「将来人口の見通しについては現時点で把握していません。」と河川管理者が回答していることから、見通しを誤れば無駄な出費になります。なぜ把握しないのか。把握しないで正確な判断はできません。
- 2、質問回答・No.1088 原案の指摘内容、3市1町だけがなぜ違うのか。を問うています。回答された審議資料は、水源地域市町村のことで、聞いているのは「給水地域の3市1町の給水人口、給水量の変化」を聞いています。再回答願います。
- 3、質問回答・No.1089 現行のダムで1975年から32年間にわたって取水され、何の支障も生じておらないのに、なぜ巨費を投じて600トンの放流のトンネルをつくらないと供給ができないのかを問うています。明確な回答を願います。
- 4、質問回答・No.1091 これまで聞いてきた計画に対する費用は、天ヶ瀬ダムトンネル建設費330億円、瀬田川改修費35億円、鹿跳び橋付近のバイパストンネル130億円、塔の島付近改修費91億円、榎島堤防などの強化費用25億円・合計611億円と聞いてきました。河川法第59、60条では国と都道府県の負担割合が明記されています。2分1なら305.5億円になりますが。まず当初計画の段階で負担割合は、国と京都府、大阪府、滋賀県でいくらであったのでしょうか。また3市1町の負担割合についても回答ください。
- 5、特定多目的ダム法7条では、建設費の負担について、支払うべき利息の額を勘案して算出した金額を負担するとなっています。精査された金額は、国と京都府、大阪府、滋賀県でいくらになるのでしょうか。また3市1町の負担金についても回答ください。
- 6、質問回答・No.1092 関西電力の負担割合、負担金についても回答ください。
- 7、質問回答・No.895、975 宇治川堤防が10日間以上も続く前期後期の放流に耐えるためには、「ドレーン工法」がよいと10月25日の説明会で聞きましたが、回答975では、「対策工の規模は変わらない」と回答されています。今回の堤防補強区間は「宇治川は3.4km」はこの工法で実施されるのですか。「浸透や浸食に対して安全度が低い」とされている22.5kmもこの工法で補強すべきと考えますが。
- 8、質問回答・No.974 「宇治川の改修については、上下流のバランスを考えながら検討」と回答されています。どういうことでしょうか。
- 9、質問回答・No.866 天ヶ瀬ダム流入量1700ト/s、放流量840ト/sなら現行ダムで可能では。
- 10、質問回答・No.786、1096 天ヶ瀬ダム流入量1400ト/sでなぜ放流量1140ト/sになるのか理解できません。
- 11、質問回答・No.1185 「天ヶ瀬ダムからの方流量は、ダムへの流入量の大小によらず1140ト/s一定となります」と回答されています。これでは、下流への不安と危険

を回避するための上流部での対応はありえないこととなります。

- 1 2、 質問回答・No.1123 全体図500分の1、断面250分の1、護岸等は、詳細図100分の1の図面で回答ください。別紙では現況を判断できません。
- 1 3、 質問回答・No.905、906 低周波音対策は、重大な問題であり、明確な対策抜きの見切り発車は絶対に止めてください。「また限られた期間での変化」とはどのような意味でしょうか。
- 1 4、 質問回答・No.1099 「滋賀県としては必要な要請」と回答されていますが、近畿地方整備局は、レーダー雨量計システムなどで24時間体制で監視できるとしています。当時の異常な状況について回答ください。また洗堰の全閉鎖時間と被害総額、浸水被害場所について回答ください。
- 1 5、 天ヶ瀬ダム下流、志津川、白川等の流域流量の計算で、流出係数0.7が示されました。洗堰から天ヶ瀬ダムの中の流出係数はいくらで計算されているのでしょうか。
- 1 6、 宇治橋から下流、山科川手前までの流域流出量と流出係数を回答ください。
- 1 7、 山科川下流から三川合流点までの流域流出量と流出係数を回答ください。

以 上